



実弾を探せ！



カワズ

夢がない！夢がない！夢がない！

先日、3年間勤めていた会社を辞めたばかりの私はとんでもなく焦っている。夢がない、夢がない。口から泡が出そうなくらいには焦っているのだが、それは周りには伝わらない。「まだ若いんだからあ」「なんでも出来るわよ」ああそりゃそうだろう私はまだ21歳だ、なんでもできる！なんでも出来るだろうと思うが、したいことが見つからない。昔からハングリー精神に欠ける性格ではあった。責任が伴うことも避けてくるような性格だった。まさにゆとり教育が生み出した典型的なタイプである。しかも3年間勤めたという例の会社だって押し掛かってくる責任感や周りの「もう中堅なんだから」という言葉に負けてしまい辞めたのだ。上司からはせめて異動しないかとの話もいただいたが、これもやはり責任が負えないという理由で蹴ってしまった。負えない責任は無理に背負わず避けるべし、謝ってももう遅い。私の背中に刻み込まれたこの言葉はなんて情けないのだろう。ああ、しかし！しかしだけどそれにしても！夢がない！！

会社を辞めるとき、一番上の上司に「この会社を辞めて何がしたいの？」と聞かれた。なんんにも思い浮かばなかった私は「フリーター」と答えたが、そしたら案の定止められた。「そんな生活するくらいならココで働いていた方が堅実よね」そりゃそうだ。そんなこと私にも分かっていた。しかしそれだってもう何度目の相談だったか分からない。色んな上司に相談したが全くとして真摯に聞いてくれなかったので一番上の上司に相談したのだ。まあそれでも辞めさせてはくれなかったが。しかし直属の上司に相談した時の方がひどかった。セクハラの相談をしたときは「悪気はないだろうから許してやってくれ」と宥められ、「辞めたい辞めたい」と愚痴をこぼし会社の粗探しばかりする先輩や上司に意見した時は怪訝な顔をされ、それを上司に相談しようものなら「お前が我慢しろ」「お前が大人になれ」なんて言うてるのだ。周りには私より年上の人たちばかりだったのに、言われる言葉はほとんどソレ。大人になろうという努力はしたが、「大人になれ」と言われ続けるうちに心は荒んだ。なんで21の私が30のオッサンらより大人にならなければいけないのか？クソみたいだ。そんな中で責任ばかりが増えていき、「お前に任せる」「お前なら出来る」と重圧を掛けられ、結果わたしは嘘をついて会社を辞めた。「小説家になりたいんです。でも今の状況じゃ小説に集中できないので…」嘘っぱちだ。だけどそれを言ったことにより『夢』が大好きな大人達は納得してくれた。ついでに応援してくれた。それが悲しくて、申し訳なくて、心臓が小さく小さくなった気がした。

夢、とはなんだ？気付いたら私には夢など存在しなかった。やりたいことがない。やってみたいことがない。けれど若いパワーのせいだろう、家でじっとしていたら頭がおかしくなりそうになる。なにをすればいい？夢がない！夢がない！夢がない！まるで砂糖菓子が詰め込まれた弾丸を持って右往左往しているバカのような。情けない。

桜庭一樹の「砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない」を読むと、夢を持っていたいと思う。いつから無くなった？いつから夢を見れなくなった？分からない。オトナと呼ばれる為にたくさんの物を捨

ててきた。それでも大人は私を指差してガキだと言った。いつからだ？持っていた弾丸が実弾じゃなくなってしまったのは。

私は探さなければならない。実弾を、そしてそれに見合った現実を。早く！早く！私に意志を！
！